

BRAIDS_TENT

産業廃棄物から構造空間を作り出す



CONCEPT

これは、産業廃棄物から出来上がる、ストラクチャルアートです。

ゴミとして処理されたポリエチレンとステンレスを集積することで、新たな役割を生み出します。

2つは、まったく別の場所で使われていた素材です。新たな役割を持って、また私達の生活の一部として活用させることを提案します。

用途は、使用するポリエチレンの網の大きさにより、子供から大人まで対応できる室内向けテントです。ポリエチレンのネットに、ステンレスの棒を編み込むことで、形態を維持させることができます。

ー 建てることを体感する ー

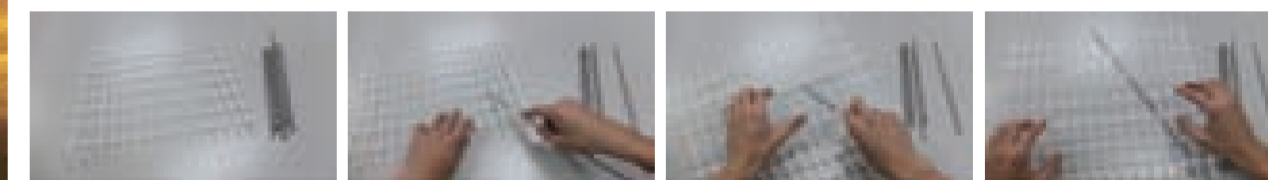
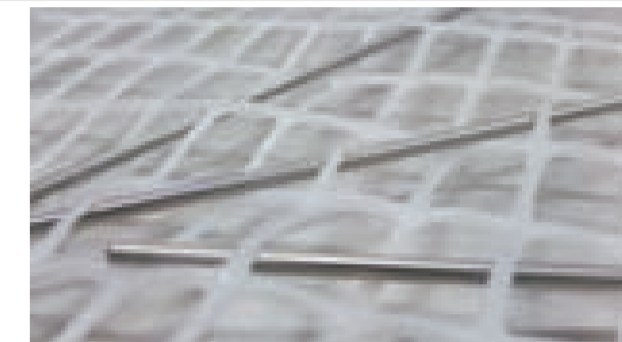
これは最低限のルールを守ることで、みんなが協力し合いながら、1つの空間を作っていくことができます。また、このルールは誰にでも直ぐに理解でき、自分たちでステンレスの棒の配置を考えることで、応力の集中する箇所や座屈が始まる箇所をどの構造を肌で感じられます。

CASE3
2 人
60 分
230 本
1200×1800



JOINT

特別な接合はいりません。
ステンレスの棒をポリエチレンの網に編み込むことで、単体では成立しなかったポリエチレンが、形状を保つことが出来るようになります。
編み込んでいくにつれて、座屈が始まる箇所などを直接、感じ取ることが可能です。



SECTION

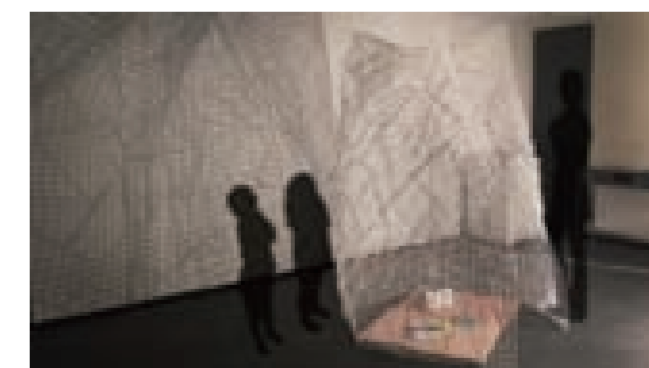


このテントは作るたびに形が変わります。子供達はその度に違ったテントに出会い、子供達に少しずつ違った遊び場を提供します。例えば、1人で本を読む子がいるかもしれません。また、2人で誰にも言えない秘密を語りあうかもしれません。

この作品では、必要な容量に合わせて、子供達が作品の大きさを決め、そして組み立てます。1人で使うなら1枚のポリエチレンの網で、600×900mmの十分な空間を確保することが出来ます。もし二人で使うのであれば、3枚の網を組み合わせて、1200×1800mm程度の空間を確保できます。

もし邪魔になったら、編みこんでいたステンレスの棒を引き抜けば、簡単に収納することも出来ます。このように、この作品は自分で考え、自分で作り、自分で片づけることにより完結することが出来ます。

VISION



服やおもちゃを掛けることで、思い思いの空間を自ら作り出せます。

SOURCE

CASE1

1 人
40～50 分
70～80 本
1200×1800

CASE ?

所要人数
所要時間
ステンレス本数
ポリプロピレンサイズ

CASE2

2 人
50～60 分
150～160 本
1200×1800 2枚

RULE

ステンレスの棒を配置するにあたって、以下の規則性がある。

- ・ ステンレスの棒同士が平行にならないようにする
- ・ ステンレスの棒の末端が、集中しないようにする

